

## PRIMERGY CX400 S1/CX250 S1/CX270 S1 ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY CX400 S1/CX250 S1/CX270 S1 に関して、以下の留意・注意事項がございます。

製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

### 1. UEFI モードについて

BIOS 設定の「Boot」メニュー「UEFI Boot」は”Disabled”に設定してご使用ください。”Enabled”または”Auto”設定はご使用になれません。

### 2. メモリミラーリングモード・スペアリングモードについて

BIOS 設定の「Chipset」メニュー「North Bridge」—「Memory Mode」における”Mirroring” 設定および”Sparing”設定はご使用になれません。

### 3. ネットワークカード / システムボード交換に伴う設定情報の再設定について

Windows Server 2008 R2 を御使用の場合、ネットワークカード、またはシステムボードの交換、待機系装置への切替え、他装置へのリストア等を行うと、ネットワークコントローラを新規追加部品と装置が認識するため、ネットワーク関連の設定情報(IP アドレス / Teaming 設定など)が初期化され、再設定が必要となります。

マイクロソフト社の以下の KB(Knowledge Base)を参照の上、事前に Hotfix を適用することで再設定を回避可能ですので、適用をお願い致します。

- Windows Server 2008 R2 : KB2344941, KB976042 (SP1 適用時は、再度 Hotfix 適用が必要)
- Windows Server 2008 R2 (SP1) : KB2550978, KB976042

#### ※ Hotfix 適用にあたっての注意事項

- Hotfix はマイクロソフト社のサポートページから入手してください。

2012年12月時点では、以下の URL から検索可能です。

<http://support.microsoft.com/>

- Hotfix は、OS インストール時に搭載されていた部品情報を有効にするものです。

OS インストール後にシステムボード等を交換していた場合、OS インストール作業時の情報となります。

また、既にネットワーク関連の設定情報が初期化された場合も、Hotfix 適用により回復できる場合がありますので、この場合も適用をお願いします。

なお、Hotfix 適用によって回復しない場合は、ネットワーク関連情報の再設定が必要となります。この際、

ハード変更前の LAN コントローラの情報が残っているため、変更前に使用していたネットワーク接続名を設定することができません。以前使用していたネットワーク接続名を使用する必要がある場合は、以下の作業後にネットワーク関連情報を再設定してください。

(1) デバイスマネージャを起動します。

コマンドプロンプトを開き、以下を実行してください。

```
set devmgr_show_nonpresent_devices=1  
start devmgmt.msc
```

(2) 非表示デバイスを表示可能にします。

デバイスマネージャで [表示] メニューの [非表示のデバイスの表示] をクリックしてください。

(3) コンピューターに接続されていない LAN コントローラを削除します。

色が薄く表示されている「ネットワークアダプタ」を削除してください。

#### 4. 電源ユニット (PSU) ×1 台時の動作について

PSU ×2 台の内 1 台が障害を起こした場合は、自動的に CPU の動作周波数を下げて、残りの PSU ×1 台で運用を継続します。CPU を通常の周波数で動作させるためには、すみやかに故障 PSU を交換してください。

#### 5. HDD LED について

本装置の HDD LED は、他の PRIMERGY シリーズとは異なる動作をします。

Slot/RAID ステータス LED	－消灯:HDD 未搭載 －点灯(緑):HDD 搭載 －点灯(赤):HDD 故障(ドライブ不良のため交換が必要) －点灯(アンバー/赤が交互に点灯):HDD リビルド －点灯(アンバー):HDD の識別
アクセス LED	－点灯(緑色):HDD がアクティブ －消灯:HDD が非アクティブ (ドライブが非アクティブ)

※アレイコントローラやアレイ管理ソフトの取扱説明書と記述が異なっている場合は、本書の記載内容が優先されます。

#### 6. HDD LED (Slot/RAID ステータス LED)について

RAID 構成以外の場合、HDD LED (Slot/RAID ステータス LED)の動作が不定となり、アンバーLED および赤 LED が点灯/点滅する場合がありますが、異常ではございません。

#### 7. ラック搭載輸送時の注意事項について

本装置をラックに搭載したまま輸送する場合、エアサス仕様車での輸送が必要となります。

## 8. マネージメント LAN ポートについて

- (1) Windows7 上の Firefox ブラウザからの IPv6 HTTPS 接続をサポートしておりません。
- (2) Virtual Media(BMC Web インターフェースの機能)をご利用する際、BMC ポート設定(「Server Mgmt」—「BMC network configuration」—「BMC LAN Switch」メニュー)を”Shared-NIC”に設定した場合は、”Dedicated-NIC”に設定した場合に比べて Virtual Media へのアクセス速度が遅く(1/3 程度)なることがあります。
- (3) CLI interface、SNMP Trap をサポートしておりません。
- (4) BMC Web インターフェースから装置をシャットダウン(「Remote Console」—「Server Power Control」)する場合、「power off failed.」と表示される場合があります。

## 9. SEL(System Event Log)について

SEL は自動更新(上書き)されません。SEL 保存領域が無くなると新規の SEL はログされなくなります。定期的に確認して不要なログを消去してください。SEL の消去方法は、「PRIMERGY CX250 S1 用 D3196 BIOS セットアップユーティリティファレンスマニュアル / PRIMERGY CX270 S1 用 D3196 BIOS セットアップユーティリティファレンスマニュアル」をご参照ください。

## 10. SAS アレイコントローラ拡張ボードについて

本装置のオプション品である SAS アレイコントローラ拡張ボードは RAID6 および RAID6+0 をサポートしておりません。

## 11. CPU 縮退機能について

本装置は CPU 縮退機能( CPU reconfiguration)をサポートしておりません。

## 12. BIOS セットアップユーティリティについて

- (1) Flash device に対する Flash protection 機能をサポートしておりません。
  - (2) 可搬媒体(DVD, USB Stick)の Boot 防止機能をサポートしておりません。
- BIOS セットアップユーティリティの詳細は「PRIMERGY CX250 S1 用 D3196 BIOS セットアップユーティリティファレンスマニュアル / PRIMERGY CX270 S1 用 D3196 BIOS セットアップユーティリティファレンスマニュアル」をご参照ください。

## 13. SAS HDD と SATA HDD の混在について

SAS HDD または SATA HDD を搭載する場合、以下の注意事項があります。

- CX250 S1/CX270 S1 サーバーボード内で SAS HDD と SATA HDD の混在は不可となります。

## 14. AC100V/200V シャーシ(1100W 電源搭載用シャーシ)使用時の制限

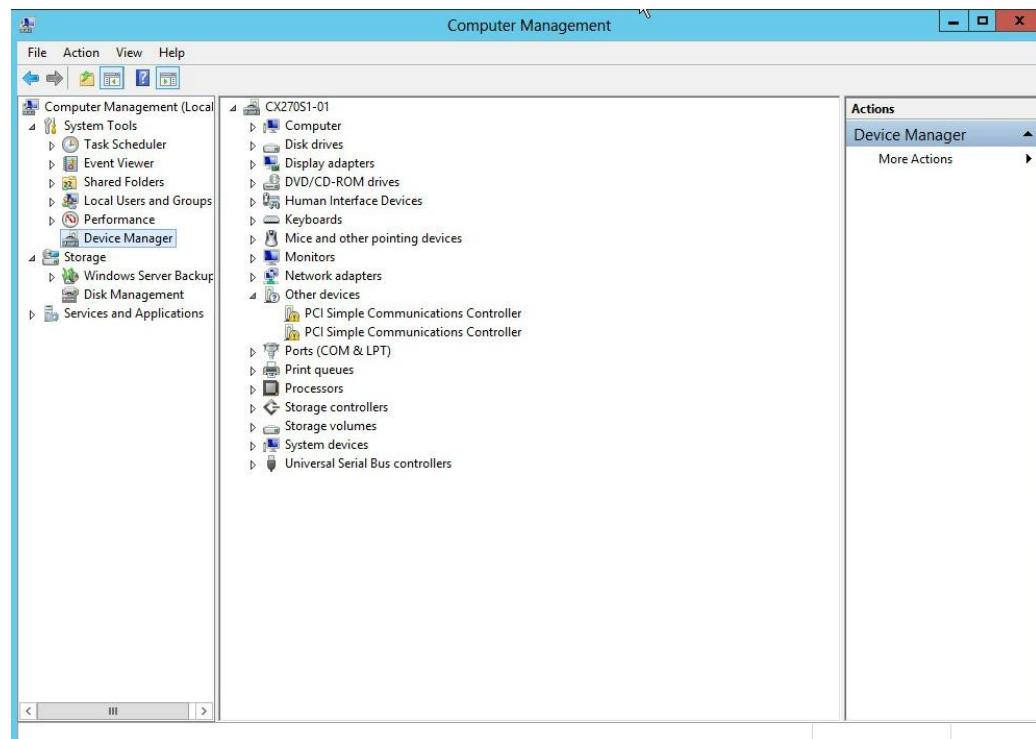
AC100V/200V シャーシ[PY-R41MC5/PY-R41MC6]搭載時は、1333 LV-LRDIMM は使用できません。

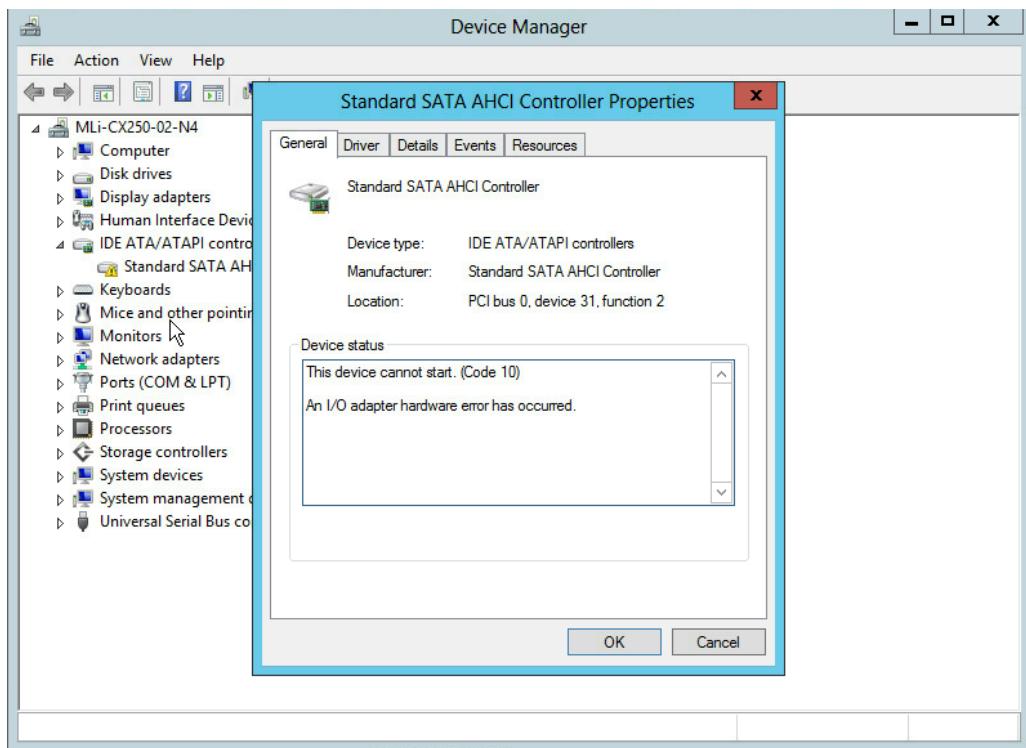
## 15. Dual port ファイバーチャネルカード(16Gbps)について

本装置のオプション品である Dual port ファイバーチャネルカード(16Gbps) [PY-FC222/PYBFC222L] は、BIOS 3B10 以降でサポートしております。

## 16. Windows Server 2012 使用時デバイスマネージャ表示について

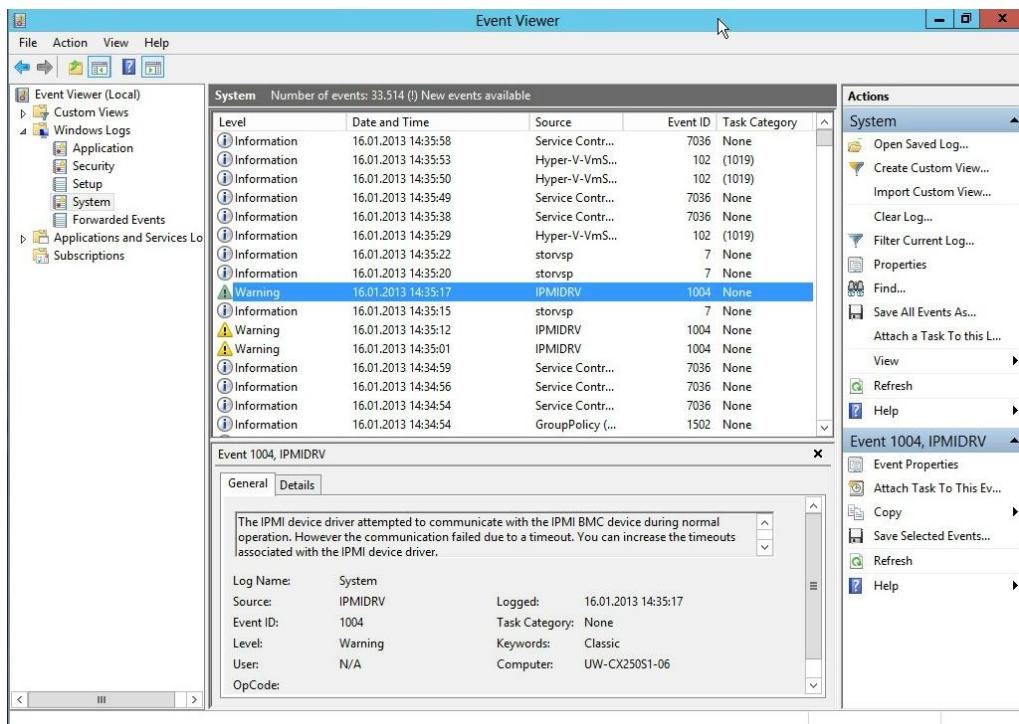
Windows Server 2012 利用時、デバイスドライバー表示において、「PCI Simple Communications Controller」及び、「Standard SATA AHCI Controller」に「!」マークが表示されますが、問題ありません。そのまま利用できます。





## 17. Windows Server 2012 のシステムイベントログについて

Windows Server 2012 利用時、OS のシステムイベントログに、「IPMIDRV-timeouts」と表示される事があります。問題ありません。そのまま利用できます。



## 18. BIOS 3C12 の使用について

BIOS 3C12 以降使用時には、事前に RAID カードの FW を以下のバージョン以降に更新してください。

- ・SAS アレイコントローラカード[PY-SR2L2/PYBSR2L2]:20.10.1-0120
- ・SAS アレイコントローラカード[PY-SR2C2/PYBSR2C2]:12.12.0-0129
- ・SAS アレイコントローラ拡張ボード[PY-SRD08A/PYBSRD081A]:12.12.0-0129

## 19. BIOS セットアップユーティリティのデフォルト設定について

下記の項目は「Restore Defaults」を実施した場合でも設定値は変更されません。

「Server Mgmt」メニュー配下

Current Restore on AC Power Loss

「Server Mgmt」—「BMC network configuration」メニュー配下

BMC LAN Port State、Station IP address、Subnet mask、Router IP address、Current IPv6 Mode

## 20. Windows Server 2008 R2 で、コンバージド・ネットワーク・アダプタご使用について

BIOS 3C12 と BMC FW 1.29 環境でのご使用、且つ OS が Windows Server 2008 R2 のご使用時に、コンバージド・ネットワーク・アダプタ[PY-CN202L/ PYBCN202L]をご利用する場合は MS Storport Hotfix KB2528357 を適用する必要があります。

## 21. Windows Server 2012 で、コンバージド・ネットワーク・アダプタご使用について

BIOS 3C12 と BMC FW 1.29 環境でのご使用、且つ OS が Windows Server 2012 のご使用時に、コンバージド・ネットワーク・アダプタ[PY-CN202L/ PYBCN202L]をご利用する場合はコンバージド・ネットワーク・アダプタの FW を 4.2.401.25 以降にする必要があります。

## 22. Console Redirection 終了時のログについて

Linux 装置への Console Redirection 接続を終了した際に、Linux 装置の画面に

「usb 1-1.2: clear tt 1 (00e0) error -71」というメッセージが表示される場合がありますが、問題ありません。そのまま利用できます。

## 23. Console Redirection 接続に使用可能なキーボードについて

Console Redirection 接続時に使用できる可能なキーボードは、英語配列のみとなります。

日本語配列キーボードを使用する場合、「^」「@」「:」「/」が使用できません。

この場合、Console Redirection のソフトウェアキーボード機能を使用、またはキーボード配列を英語設定に変更してご使用ください。

## 24. SAS アレイコントローラ拡張ボード搭載装置のエラーログについて

Red Hat Enterprise Linux 6 がインストールされ、かつ SAS アレイコントローラ拡張ボード(PY-SRD08A/PYBSRD081A)が搭載されている場合、OS のイベントログに以下のメッセージが複数回記録される場合があります。本メッセージが記録されても装置に異常はありません。

megaraid\_sas 0000:30:00.0: vpd r/w failed. This is likely a firmware bug on this device.  
Contact the card vendor for a firmware update.

## 25. サーバノードのオプション増設作業や保守作業について

サーバノードのオプション増設作業や保守作業において、サーバノードをシャーシより取り外した場合、シャーシに搭載されている一部のサーバノードの冷却が不十分となるため、そのサーバノードにおいて一時的にスロットリング機能が有効となり、性能を低下させて動作します。但し、オプション増設作業や保守作業が終了し、シャーシ内にサーバノードを搭載した状態に戻すことにより、通常の状態に復旧します。

### 修正・対応済みとなった項目

最新の BIOS とファームウェアは、PRIMERGY ホームページの「ダウンロード」より入手してください。

#### 1. 【修正済み】 オンボードソフトウェア RAID 機能について

本装置では、オンボード RAID 機能はご使用になれません。

→ BIOS Ver. 3B02 以降にて修正済み。

#### 2. 【修正済み】 BIOS 初期設定について

BIOS 設定の「Save & Exit」メニューにおいて”Restore Defaults”を実行した場合、以下の項目については工場出荷設定にはなりません。

「Boot」-「UEFI Boot」

- 工場出荷設定:Disabled

- Restore Defaults:Enabled

→ BIOS Ver. 3B02 以降にて修正済み。

#### 3. 【対応済み】 ServerView Suite について

システム統合管理ツール群 ServerView Suite をサポートしておりません。

→ ServerView Suite Ver. 10.12.05 以降にて対応済み。

#### 4. 【修正済み】 PXE boot について

オンボード LAN から PXE boot を試みた際に、サーバと通信できなかった場合でも PXE boot をタイムアウトしない場合があります。PXE boot 運用しない場合は、BIOS 設定の「Boot」メニュー-「Boot Option Priorities」で PXE boot のブート順位を下げてください。

→ BIOS Ver. 3B02 以降にて修正済み。

## 5. 【修正済み】マネージメント LAN ポートについて

(1) BMC Web インターフェースのユーザー設定(「Configuration」-「Users」メニュー)において以下の注意事項があります。

- UserID:10 番目(UserID 10)のユーザー登録は未サポートです。
- Network Privilege: "User"を指定した場合 Web インターフェースへログインできません。

→ BMC フームウェア Ver. 1.11 以降にて修正済み。

## 6. iSCSI ブートについて

本装置では、iSCSI ブート機能はご使用になれません。

→ BIOS Ver. 3C12 以降にて対応済み。

## 7. リモートマネジメントコントローラでコンソールリダイレクション機能使用について

BIOS 3C12 と BMC FW 1.29 環境でのご使用、且つリモートマネジメントコントローラでコンソールリダイレクションして、リモートストレージを使用している時に Reboot 等を行い POST 中にリモートストレージを解除すると、キーボードとマウスが使用できなくなります。

復旧には、CX250 S1/CX270 S1 抜き差し、または CX400 S1(シャーシ)の電源 OFF/ON の操作が必要となります。

→ BMC Ver. 1.33 以降にて対応済み。

## 8. BIOS 設定項目追加について

BIOS 3B10 以降で下記の BIOS 設定項目が追加されました。

「Advanced」-「CPU Configuration」-「Anti-Starvation Counter」

CPU 内部制御用レジスタの値を設定します。

設定値(工場出荷設定): 1F5H (変更禁止)

BIOS 3B10 及び BIOS3C12をご使用時、本項目は「Save & Exit」メニューにおいて"Restore Defaults"を実行した場合、工場出荷設定にはなりません。

"Restore Defaults"を実行した場合は別途手動にて設定を変更してください。

Restore Defaults 値 2BH ⇒ 設定値: 1F5H

→ BIOS Ver. 3C16 以降にて対応済み。

以上

Copyright 2013 FUJITSU LIMITED